

吉野川		市・町・村		西麻植		小・中学校	
学校長		桑原 淳二		体育主任		森永 達也	
本校の体力・運動能力，運動・生活習慣の現状と課題 (平成27年度「体力・運動能力，運動習慣等調査」の結果等を考察して記載)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新体力テストの結果，「長座体前屈」が男女とも全国平均を下回っている様子が見られる。</li> <li>・ほとんどの児童は，集団登校により徒歩通学を行っている。しかし，通勤距離が遠く保護者が車で送迎をしている児童もいる。</li> <li>・積極的に運動をしている児童もいるが，運動習慣が身につけにくい児童もあり，体力差が見られる。</li> </ul>							
本校の体力向上の取組（本校の課題から，本年度に重点的に取組改善を目指す内容を記載）また，本県児童生徒の課題である「持久力」に関する取組について記載							
1	目標	体育授業をとおして，他者と共に体を動かすことの楽しさ・喜びを体感させる。					
	方法	・個人差に応じた指導を工夫するとともに，基礎的な体力・運動能力の育成を図るため，「体力づくりプログラム」を授業の中に取り入れる。					
	達成目標	新体力テストの長座体前屈の平均を男女共3cm伸ばす。					
	評価	授業の最初に柔軟性を意識した動きを取り入れたが，計測が5月であるため効果が検証しにくかった。					A・B・C・D
2	目標	児童の外遊びをする割合を高める。					
	方法	・児童会を中心に，「全員遊びデー」や「楽しい外遊び」を企画し，外遊びを推奨する。					
	達成目標	「生活がんばりカード」の外遊びをしている割合を昨年比5%達成					
	評価	6年生が呼びかけて一緒に遊ぶ日を設けることができた。昨年比11%増加した。					A・B・C・D
3	目標	体操・水泳・陸上・駅伝の練習に参加させ，運動機会を増やす。					
	方法	・朝会で運動の成果を披露する場を設けたり，参加意欲を引き出す掲示を行い，参加者を増やす。					
	達成目標	水泳・陸上・駅伝練習参加児童前年比10%増					
	評価	体操・水泳・陸上・駅伝の練習に積極的に参加し，10%以上を達成した。					A・B・C・D

※評価は「A：よくできた，B：できた，C：あまりできなかった，D：できなかった」（年度末評価）